

高温対策の水管理を徹底しましょう！

- 猛暑が続いており、高温障害による品質低下が懸念されます！
- 今後も干ばつ傾向のため、湛水管理を徹底しましょう！

過剰に乾いていないか確認しましょう！

暑い日が続き、出穂時期にもかかわらず、写真のような乾いたほ場が散見されます！

出穂期前後は、水稻が最も多くの水を必要とする時期です。

水が不足すると稲が十分に光合成を行うことができず、**籾数の減少や登熟歩合の低下、胴割粒や白未熟粒の増加**といった品質の低下が増長されます！

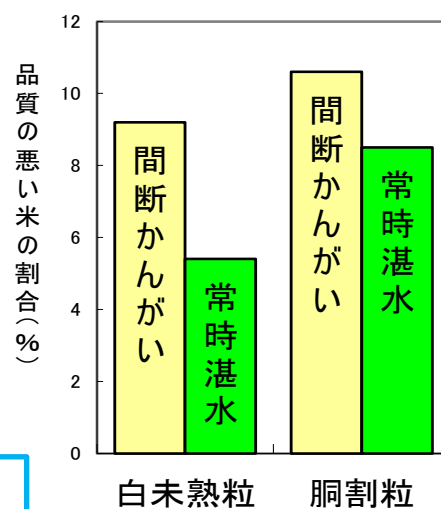
湛水管理で高温被害を軽減しましょう！

実際に、出穂時期に常時湛水すると、間断かんがいに比べ白未熟粒や胴割粒の発生を減らせることがわかっています！（右図参照）

※水不足が懸念される地域は、地域内で話し合いのうえ、計画的に入水しましょう。



出穂前に乾燥したほ場



出穂前後の水管理と白未熟粒・胴割粒の関係



熱中症にご注意ください！！

予防のポイント

- ①暑い時間帯の作業を避ける
- ②こまめな休憩と水分補給
- ③単独作業を避ける
- ④熱中症対策アイテムの活用